

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2023年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II 英語学・英語教育学		

授業担当教員/Faculty	高梨 芳郎
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>この講義では、博士後期課程における学修の基礎として、人文・社会科学研究、英語学・英語教育学研究の動向と基礎概念、科学的研究と研究者の在り方について学び、その基礎の上に、英語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。研究法については、量的研究法・質的研究法・混合法についても理解を深め、研究法の学修で得た知識を参考にして、学習者要因、指導法、言語テストに関する英語教育学研究の到達状況と成果について学修して、自律的な研究に進むためのコースワークを行う。</p> <p>初回から第13回までと第15回の授業は対面で行う。第14回はオンライン（Google Meetでの同時双方向型）で行う。受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前にGoogle MeetのURLを連絡する。</p>
--	---

授業計画 / Schedule	<p>第1回 人文・社会科学研究の動向と基礎概念 第2回 英語学・英語教育学研究の動向と基礎概念 第3回 科学的研究における研究者の役割と研究倫理の在り方 第4回 研究法（量的研究・質的研究）の研究事例と課題 第5回 混合法（概要と事例）の研究事例と課題 第6回 第二言語修得における学習者要因の役割 第7回 第二言語修得における学習者要因の研究法と研究事例 第8回 第二言語修得における学習者要因についての研究成果と課題 第9回 第二言語教育における指導法についての考え方 第10回 第二言語教育における指導法についての研究法と研究事例 第11回 第二言語教育における指導法の研究成果と課題 第12回 第二言語学修における評価と言語テストの考え方 第13回 第二言語学修における評価と言語テストの研究事例 第14回 第二言語学修における評価と言語テストの研究成果と課題 第15回 研究課題の整理と考察</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	<p>「人文学分野の研究動向」日本学術振興会 2007年 「英語学・英米文学・英語教育 各界の回顧と展望」『英語年鑑』研究社 2019年 『科学の健全な発展のために』日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会 2015年 Brown, H.D.(2014), Principles of Language Learning and Teaching(6th ed.) Pearson Education, Inc.</p>
---	---

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2023年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II 英語学・英語教育学		

授業担当教員/Faculty	佐藤 一嘉
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	この講義では、博士後期課程における学修の基礎として、人文・社会科学研究、英語学・英語教育学研究の動向と基礎概念、科学的研究と研究者の在り方について学び、その基礎の上に、英語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。研究法については、量的研究法・質的研究法・混合法についても理解を深め、研究法の学修で得た知識を参考にして、学習者要因、指導法、言語テストに関する英語教育学研究の到達状況と成果について学修して、自律的な研究に進むためのコースワークを行う。
--	--

授業計画 / Schedule	<p>第1回 人文・社会科学研究の動向と基礎概念 (Trends in social science research)</p> <p>第2回 英語学・英語教育学研究の動向と基礎概念 (Trends in English language studies)</p> <p>第3回 科学的研究における研究者の役割と研究倫理の在り方 (Researcher's roles)</p> <p>第4回 研究法 (量的研究・質的研究) の研究事例と課題 (Research issues—qual/quant)</p> <p>第5回 混合法 (概要と事例) の研究事例と課題 (Research issues—mixed methods)</p> <p>第6回 第二言語修得における学習者要因の役割 (Individual differences)</p> <p>第7回 第二言語修得における学習者要因の研究法と研究事例 (Research methods in ID)</p> <p>第8回 第二言語修得における学習者要因についての研究成果と課題 (Research results in ID)</p> <p>第9回 第二言語教育における指導法についての考え方 (Second Language teaching)</p> <p>第10回 第二言語教育における指導法についての研究法と研究事例 (Instructed second language acquisition)</p> <p>第11回 第二言語教育における指導法の研究成果と課題 (Research issues in SLT)</p> <p>第12回 第二言語学修における評価と言語テストの考え方 (Language assessment)</p> <p>第13回 第二言語学修における評価と言語テストの研究事例 (Research results in LA)</p> <p>第14回 (Online) 第二言語学修における評価と言語テストの研究成果と課題 (Research issues in LA) (オンライン授業)</p> <p>第15回 研究課題の整理と考察 (Summary)</p>
-----------------	--

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書 (参考書) / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書については初回の授業で説明する。
--	---

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2023年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II 英語学・英語教育学		

授業担当教員/Faculty	Duane Kindt
----------------	-------------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	この講義では、博士後期課程における学修の基礎として、人文・社会科学研究、英語学・英語教育学研究の動向と基礎概念、科学的研究と研究者の在り方について学び、その基礎の上に、英語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。研究法については、量的研究法・質的研究法・混合法についても理解を深め、研究法の学修で得た知識を参考にして、学習者要因、指導法、言語テストに関する英語教育学研究の到達状況と成果について学修して、自律的な研究に進むためのコースワークを行う。
--	--

授業計画 / Schedule	<p>第1回 人文・社会科学研究の動向と基礎概念 (Trends in social science research)</p> <p>第2回 英語学・英語教育学研究の動向と基礎概念 (Trends in English language studies)</p> <p>第3回 科学的研究における研究者の役割と研究倫理の在り方 (Researcher's roles)</p> <p>第4回 研究法 (量的研究・質的研究) の研究事例と課題 (Research issues – qual/quant)</p> <p>第5回 混合法 (概要と事例) の研究事例と課題 (Research issues – mixed methods)</p> <p>第6回 第二言語修得における学習者要因の役割 (Individual variability)</p> <p>第7回 第二言語修得における学習者要因の研究法と研究事例 (Research methods)</p> <p>第8回 第二言語修得における学習者要因についての研究成果と課題 (Research results)</p> <p>第9回 第二言語教育における指導法についての考え方 (Teaching method cases)</p> <p>第10回 第二言語教育における指導法についての研究法と研究事例 (Applying methods)</p> <p>第11回 第二言語教育における指導法の研究成果と課題 (Methods and SLD)</p> <p>第12回 第二言語学修における評価と言語テストの考え方 (Teaching & assessment)</p> <p>第13回 第二言語学修における評価と言語テストの研究事例 (Case study research)</p> <p>第14回 (Online) 第二言語学修における評価と言語テストの研究成果と課題 (Case studies)</p> <p>第15回 研究課題の整理と考察 (Considering research design)</p> <p>*The 14th class will be taught online.</p>
-----------------	--

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書 (参考書) / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書については初回の授業で説明する。
--	---

課程 / Program		開講年度・学期 / Semester	2023年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II 日本語学・日本語教育学		

授業担当教員/Faculty	坂本 正
----------------	------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>「特殊講義 I」では、実行可能な博士論文の研究テーマを決定し、研究テーマに関する先行研究を収集し、整理し、問題点などを指摘し、更に、それらを踏まえて、研究課題を設定するところまで行った。それらを踏まえて、今学期は、実際に調査協力者に負担の少ない、実行可能な調査方法、質的ならびに量的分析方法の習得ならびに決定まで進めることを目標にする。資料の提供やクラス内連絡にはGoogle Classroomを使う。履修登録者のNUFSのメールアドレス宛にGoogle Classroomの招待メールを送るので、あらかじめ登録しておくこと。</p>
--	---

授業計画 / Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1) オリエンテーション 2) 第二言語習得研究の歴史 3) 第二言語習得研究の研究手法 4) 第二言語としての日本語の習得研究の現状と課題 1 5) 第二言語としての日本語の習得研究の現状と課題 2 6) 第二言語としての日本語の習得研究の現状と課題 3 7) 日本語のWriting能力の評価と自動評価 8) 日本語の口頭能力の評価(OPI) 9) 日本語学・日本語教育学研究に必要なITリタラシー 10) JASPを使った統計分析 11) 第二言語習得研究と外国語（日本語）教授法 12) 関連論文講読（1） 13) 関連論文講読（2） 14) 関連論文講読（3）（online授業） 15) まとめと振り返り
-----------------	--

成績評価基準 / Assessment criteria	レポート
------------------------------	------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する
---	-------------------

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2023年度2期
授業区分	週間授業	合併講義等	特になし
授業名 / Subject	特殊講義 II グローバルコミュニケーション		

授業担当教員/Faculty	佐藤 都喜子
----------------	--------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>授業概要 この講義では、博士後期課程における学修の基礎として、開発分野の現場で使う様々な調査手法を自身が選んだテーマに則して、実際に活用する。</p> <p>到達目標 開発現場の状況に応じて、調査手法を活用する力を身につける。</p>
--	--

授業計画 / Schedule	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 現状分析</p> <p>第3回 評価指標①：上位目標</p> <p>第4回 評価指標②：プロジェクト目標</p> <p>第5回 評価指標③：アウトプット</p> <p>第6回 事前・事後調査</p> <p>第7回 PRA①：地図作成</p> <p>第8回 PRA②：季節カレンダー</p> <p>第9回 PRA③：社会関係図</p> <p>第10回 PRA④：課題探しとランキング</p> <p>第11回 PRA⑤：因果関係図</p> <p>第12回 PLA・アクションリサーチ①：問題特定、分析</p> <p>第13回 PLA・アクションリサーチ②：計画</p> <p>第14回 PLA・アクションリサーチ③：行動、評価、反省</p> <p>第15回 まとめ</p>
-----------------	--

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配布する。 参考書については初回の授業で説明する。
---	---

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2023年度2期
授業区分	週間授業	合併講義等	合併講義
授業名 / Subject	特殊講義 II グローバルコミュニケーション		

授業担当教員/Faculty	鈴木 茂
----------------	------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	博士後期課程での研究を深め、円滑に研究が実施できるようにリサーチワークを行う。研究課題ごとに研究テーマに則した研究計画を立て、先行研究の収集・分析を行い、研究仮説の設定、研究方法の決定、データ収集と分析、結果と考察、課題の整理などを適切に行えるように指導する。毎回の授業終了時に課題を出し、課題の報告を基に次回の授業を進めていく。これらの課題の結果を報告書にまとめて発表するように指導する。「論文指導」では、この報告書を精緻化して博士論文にまとめていく。
--	---

授業計画 / Schedule	<p>第1回: 授業の目標と概要</p> <p>第2回: 研究テーマの検討</p> <p>第3回: 先行研究の発掘</p> <p>第4回: 先行研究の整理</p> <p>第5回: 先行研究の検討</p> <p>第6回: 先行研究の決定</p> <p>第7回: 研究仮説の設定</p> <p>第8回: 研究仮説の討議</p> <p>第9回: 研究方法の検討</p> <p>第10回: データ収集(予備研究)の検討</p> <p>第11回: データ収集(本研究)の検討</p> <p>第12回: 研究計画策定</p> <p>第13回: 予備研究の対象地域</p> <p>第14回: 予備研究の調査実施計画設定</p> <p>第15回: 予備研究の調査実施計画発表</p> <p>第16回: 予備研究調査の報告</p> <p>第17回: 予備研究調査結果の整理</p> <p>第18回: 予備研究調査結果の検討</p> <p>第19回: 予備研究調査結果の考察</p> <p>第20回: 予備研究調査結果の課題</p> <p>第21回: 予備調査報告書の作成</p> <p>第22回: 対象地域、仮説の見直し</p> <p>第23回: 研究方法の見直し</p> <p>第24回: 研究計画の見直し</p> <p>第25回: 本研究の調査実施計画の設定</p> <p>第26回: 本研究の調査実施計画の検討</p> <p>第27回: 本研究の調査実施計画の再検討</p> <p>第28回: 本研究の調査実施計画の最終決定</p> <p>第29回: 本研究の調査実施計画の発表</p> <p>第30回: 本研究の調査実施計画の課題の整理</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	毎回の報告と討論に基づいて評価します。
------------------------------	---------------------

教科書(参考書) / Textbook/Reference Materials	<p>教科書は使いません。</p> <p>参考書</p> <p>伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣、2001年</p> <p>小熊英二『論文の書き方』講談社現代新書、2022年</p> <p>久米郁男『原因を推論する』有斐閣、2013年</p> <p>佐藤郁哉『質的データ分析法』新曜社、2008年</p> <p>高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書、1979年</p>
---	---

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2023年度2期
授業区分	週間授業	合併講義等	なし
授業名 / Subject	特殊講義 II グローバルコミュニケーション		

授業担当教員/Faculty	大岩 昌子
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士後期課程における学修の基礎として、科学的研究と研究者の在り方について深く学ぶ。そのうえで、人文・社会科学研究、音声・音声習得研究の動向を見極め、音声習得研究に必要な研究法の知識・技能、および専門的知識を修得する。研究方法については、量的研究法・質的研究法の両面から理解を深めていく。これらを踏まえたうえで、とりわけ中国人日本語学習者と日本人中国語学習者の音声習得に関する最新の研究の現況と成果について学修し、自律的な研究を行うことができるようになる。</p> <p>第14週のみZOOMによるオンライン授業となる。 受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前に連絡する。</p>
--	---

授業計画 / Schedule	<p>第1回 ガイダンス 第2回 音声習得研究の動向と検討 第3回 中国人日本語学習者の音声事例研究（母音） 第4回 中国人日本語学習者の音声事例研究（子音） 第5回 中国人日本語学習者の音声事例研究（特殊拍） 第6回 中国人日本語学習者の音声事例研究（アクセント） 第7回 中国人日本語学習者の音声事例研究（イントネーション） 第8回 中国人日本語学習者の音声収録 第9回 中国人日本語学習者の音声分析 第10回 日本人中国語学習者の音声事例研究（母音） 第11回 日本人中国語学習者の音声事例研究（子音） 第12回 日本人中国語学習者の音声収録 第13回 日本人中国語学習者の音声分析 第14回 発表 第15回 まとめ</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	<p>授業中に配布する。 また、音声分析ソフト（種類は任意）を使用する。</p>
---	---